

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 12 月 20 日 (17:00 ~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 17人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	4人	人	17人

前回の改善計画
利用開始前には管理者、計画作成担当者が収集した情報、アセスメントシート等を活用しスムーズに支援を開始できるように朝礼、ミーティング時に伝達する事、その情報をスタッフ全員が把握できるよう個人ファイルの見開きのところへ介護の留意点等を含め何度も確認ができるようにする。また、支援を行う中で変更になった事や家族からの情報等を更新できるよう新しい情報には色を変えて記載する。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用開始前は朝礼やミーティングにて援助内容を報告し周知している。また、個人ファイルの見開きに留意点を確認できるように綴じている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	14			17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	14	2		17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	12	3	1	17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	6	1	17

できている点
<ul style="list-style-type: none">必要な支援、希望される支援をアセスメント時に確認している。アセスメントの内容を朝礼、ミーティング時に確認し確認後はサインをして全員が情報を共有している。利用開始には本人のこれまでの生活歴や以前利用していたサービス事業者から聞き取った内容を使って慣れて頂くようにしている。月1回のモニタリングや要所での電話確認等で関係づくりをしている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">上記の内容を全員に周知するまでに日数を要している。本人、家族との連絡等はスタッフ全員ではなく決まった職員になっている。契約から開始が短時間で行われた場合、アセスメント不足になることがある。主に計画作成担当者がアセスメントを行っているので情報収集に時間がかかる。

次回までの具体的な改善計画
利用者の情報がスタッフ全員に周知するまでに時間が掛かることに対し、利用開始時に必要な情報は利用者前にアセスメントを行い、開始時にスタッフに周知ができるように事前聴取を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 12 月 20 日 (17 : 00 ~19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 17 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8 人	9 人	人	17 人

前回の改善計画
利用者、家族の思いが一人一人違うことを理解し、日々の生活の中で目標を達成できるようにスタッフ間で話し合い具体的な支援を行う。目標の振り返りを行い達成した場合、未達成に終わった場合等の比較を行い支援の改善に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果
援助計画に沿った支援を提供しているが、最終的なゴールとまでは至っていない。日々の生活の中で改善は「気づき」として挙げ、朝礼やミーティングで周知し情報の共有に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	4	8	2	17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	5	7	2	17
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	10	1	17
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	2	9	3	17

できている点
・ サービス計画、援助計画を確認し支援をしている。 ・ 朝礼、ミーティングの場で情報共有している。 ・ 普段から本人に理解しやすいように目標の説明を行っている。

できていない点
・ 目の前の支援 (生活) が主になり目標を意識しないことがある。 ・ 目標をスタッフ全員が把握するまでに時間がかかる。 ・ サービス計画、援助計画を常に意識しないことがあり、その日の支援でいっぱいになっている。 ・ 本人が目標に消極的になる事があり、スタッフもそちらに流されてしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画
利用者の目標を確実に捉えゴールの見える支援を行う。例) 歩いてトイレに行く等

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 12 月 20 日 (17:00 ~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 17 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9 人	5 人	2 人	17 人

前回の改善計画
<p>利用者の生活歴を情報収集し関係作りに活用できるようにスタッフ間で共有する。利用者の体調、身体状態に合った支援が行えるよう介護内容、計画の見直しを行い健康的な生活を送って頂くよう支援する。介護内容の見直し、変更は個人ファイルに色を変え更新した内容がわかりやすく把握できるように記入する。利用者の声にならない声、表現できない事柄など普段の生活から理解できるよう日々の生活の観察の中から気づけるよう細かい支援を行う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>利用者の体調、身体状態に沿った支援が行えるよう介護内容の見直しをする「気づき」が多く挙がった。10月よりミーティングの回数を月2回に増やし、十分ではないがスタッフ間で利用者の支援方法や情報の共有ができるよう改善できた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			11	6	17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	12	2	1	17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	9	3	17
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	12	2		17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	11	2	1	17

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の状況を把握し、個人ファイルを更新している。 ・馴染みのこと等情報を収集し、本人が気持ちを汲みやすい雰囲気づくりを意識的に行っている。 ・スタッフ全員が同じレベルの介護ができるようにスタッフ間での話し合う場を作っている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らしや生活環境など把握できていないことがある。 ・遠慮をする利用者に対し、本心が聞けていない部分がある。 ・目の前の業務に追われ、本人の声にならない声を聞くことができていない。 ・身体状態が安定している利用者に対し、安心していることがあり。ミーティングの話題に上がりにくい。

次回までの具体的な改善計画
<p>利用者との日常会話の中から把握できた本心や以前の暮らしの事などをスタッフ間で共有し個別の支援に繋げる。利用者の身体状態に合った支援ができるよう援助計画の見直しを定期的に行う。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 12 月 20 日 (17:00 ~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 17人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	6人	4人	17人

前回の改善計画	利用者の生活スタイル、人間関係を把握できるよう家族だけでなく地域近隣、民生委員との連携を図れるよう普段から自宅へ訪問する際など話ができる関係を作る。事業所だけでなく支援を受ける事のできるボランティア等の紹介ができるよう普段から情報収集する。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症による地域の困難事例を福祉課、警察、医師、民生委員と協議し、利用へと繋がった。 また、利用者の地域での困りごとを地域の民生委員より相談していただき家族へと繋げる連携がとれた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	8	1	17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	5	3	17
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	10	3	17
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	10	4	17

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の生活、生活歴をアセスメントし、地域のつながりを絶やささないような支援を行うようにしている。 ・本人が自宅でどのように過ごしているか、一人の時にどうしているかを訪問等で把握するようにしている。 ・一人暮らしの利用者が利用する場合は民生委員へ情報提供を行い、家を空ける曜日を伝えている。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族がしっかり生活している場合は近所、民生委員に連絡していない。 ・本人、家族から聞き取れなかった地域との関係性などはそれ以上の把握をしていない。 ・近所の方には訪問時間等で会えれば話ができるが、それ以外には話す機会がない近隣もいる。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	普段から訪問や送迎時に地域の人と挨拶を交わすなど話ができる関係性を築く。地域との関係性などアセスメント時に情報収集を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 12 月 20 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 17 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	13 人	3 人	1 人	17 人

前回の改善計画
利用者、家族に事業所が柔軟に支援を行うことができる事を伝える。本人、家族の状態が変化する場合にも対応ができるようにし、支援の切れ間が起こらないようにする。安心して利用して頂けるよう利用者の状態を朝礼、ミーティングにて周知し支援に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の冠婚葬祭等、一時的な利用形態変更の要望にも柔軟に対応することができた。 看護師の不在により、十分な医療面でのケアを提供できないが、必要時は1階戸河内診療所、安芸太田病院受診へと繋げることができた。 ・ 本人の気づき、変化については朝礼、ミーティングで情報を周知している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	9	5	2	17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	13		1	17
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	12	1	2	17
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	14	1		17

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 柔軟に支援ができることを契約時だけでなく、モニタリング時などにも随時説明をしている。 ・ 本人の変化に気づいた場合はスタッフ間で共有ができるよう日別表や申し送りノートに記入している。 ・ ミーティング、朝礼等で周知している。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所内で完結できるような支援になる場合がある。 ・ 日々の業務に追われてその時の利用者の変化に気づかないことがある。 ・ 日々の業務に追われてしまう。 ・ 本人から発信される気持ちに気づかないことがある。

次回までの具体的な改善計画
事業所で完結できる支援だけではなく、地域の行事や外出等、地域とかかわる機会を増やす。本人のニーズを理解し支援につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 12 月 20 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 17 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	12 人	3 人	1 人	17 人

前回の改善計画
その他のサービス機関との担当者会議は所長、計画作成担当者、生活相談員が出席し収集した情報をスタッフへ周知するようにする。地域の行事に積極的に参加し事業所を住民に理解して頂けるよう活動する。開かれた事業所を目指し、各事業所など社協の広報などに掲載し参加、訪問を呼びかける。
前回の改善計画に対する取組み結果
各担当者会議で得た情報は、朝礼、ミーティングで周知している。 小中学校の職場体験や体験学習は恒例化している。活動内容は「社協だより」に掲載し活動内容の報告をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		10	2	5	17
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		9	2	6	17
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	10	3	3	17
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	11	1		17

できている点
・ 担当者会議、包括支援センターとの会議には管理者、計画作成担当者が出席するようにしている。 ・ 利用者の地域の行事に参加できるように支援している。 ・ 地域の保育園、お寺に来所して頂いている。

できていない点
・ 平日には利用者が多いので動きにくく、日曜日などの限られた曜日で文化祭等に鑑賞に行っている。 ・ 利用者一人一人を対象にした外出ができていない。 ・ 外出が少ないのは、平日は利用者が多く個別に対応することが難しい。

次回までの具体的な改善計画
他機関との会議等で収集した情報は朝礼、ミーティングでスタッフへ情報提供を行う。地域の行事への参加、事業所への訪問等を活用し地域、サービス機関とつながる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 12 月 20 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

7. 運営

メンバー 17 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	11 人	4 人	2 人	17 人

前回の改善計画

利用者、家族、地域から寄せられた意見を反映できるよう朝礼、ミーティング等にて協議し、より良い事業所になるよう取り組みを継続して行う。苦情が寄せられた場合は改善に向け話し合いの場を持つ。地域に開かれた事業所であるために地域のサロン等に積極的に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

ミーティングは10月より月2回とし、利用者情報の共有や、職員としての意見を言う機会が増えた。苦情は朝礼、ミーティングで全スタッフに周知し、解決に向けた話し合いをしている。参加可能な地域サロンへの誘いはできる限り参加させていただいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		10	5	2	17
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	11	3		17
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	11	3	2	17
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		7	7	3	17

できている点

- ・利用者、家族からの意見はミーティング、朝礼で周知している。
- ・寄せられた意見を支援内容に組み入れるよう話し合いをしている。
- ・地域に必要と認められるためにサロン等に参加をしている。

できていない点

- ・事業所のことを地域にコマーシャルできていない。
- ・地域に出向くことが少ない
- ・地域からの意見が届きにくい
- ・職員間であり方を話す機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画

- ・意見を活用し利用者家族からの意見を収集する。
- ・苦情が寄せられた場合は改善に向け話し合いの場を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 12 月 20 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 17 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	6 人	3 人	17 人

前回の改善計画
スタッフのスキルアップに向け町内外の研修に参加し、研修にて得た知識をスタッフが共有でき、支援に結びつけるように研修後に報告ができる場を作る (ミーティング等)。リスクマネジメントの取組みとしてヒヤリハットへの記入を細かく行いスタッフに周知し再発防止を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
外部研修に参加し、得た知識はミーティングで報告し情報を共有している。また、部内研修へは参加可能なスタッフや希望者を募り参加している。 ヒヤリハット報告は件数も多く挙がり定着してきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	7	2	4	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	4	5	15
③	地域連絡会に参加していますか		2	5	8	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6	5	3	14

できている点
・部内研修に参加している。 ・スキルアップにつながる研修を受講している ・ヒヤリハットで上がったことをミーティング、朝礼で検討している。

できていない点
・地域連絡会に参加していない。 ・当日出勤しているスタッフ以外の参加が少ないこともあり、全員が部内研修に参加していない。 ・地域連絡会と連携が取れていない。

次回までの具体的な改善計画
・毎月の部内研修に参加しスキルアップを行い、支援に繋げる。 ・ヒヤリハットを活用しスタッフ間で再発防止を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 12 月 20 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 17 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	11 人	3 人	2 人	17 人

前回の改善計画
虐待を疑われる場面などに直面した場合は早急に対応を行い町の窓口への通報を行う。早急な解決を図るため、関係機関で連携を図れるよう日頃から情報収集する。 かけはし、成年後見制度の支援が必要な場合は社協の担当者で連携しスムーズに利用に繋げるよう支援する。 個人情報について鍵付のロッカーに収納し夜間は鍵を閉めておく。個人情報に関わる物は普段から必要時以外には出さないようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">虐待が疑われるケースは福祉課へ報告をしている。研修会、勉強会に参加し不適切ケアをしないよう心掛けている。個人ファイルは鍵付のロッカーに収納している。時々個人ファイルがテーブルに置きっぱなしになっていることがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	6			15
②	虐待は行われていない	10	5			15
③	プライバシーが守られている	5	8	2		15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	3	2	4	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	8	1		14

できている点
<ul style="list-style-type: none">身体拘束は行っていない。何が拘束にあたるのか、スタッフ間で共有できている。個人情報は鍵付きのロッカーに入れている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">名札などが出たままになっていることがある。名札を収める事や係が決まっていないので気づかなかつたら出たままになっている。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">待が疑われるケースは福祉課に報告し、連携して早期解決を図る。成年後見制度の支援が必要な場合は社協の担当と連携しスムーズに利用に繋げる。個人情報は鍵付きロッカーに収める。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 安芸太田町社会福祉協議会	代表者	藤井幸穂	法人・ 事業所 の特徴	当事業所は診療所の2階に併設されており、医療と連携した高齢者介護を一体的にサポートしています。近所には役場、公園、うれあいセンター、寺が4か所、食堂3軒、お好み焼き屋3軒と周辺の環境にも恵まれ、容易に資源を活用することができます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所「ふれあい」	管理者	沖野耕平		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	人	人	1人	1人	1人	4人	1人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価を職員全員が理解し取り組む。	職員全体で自己評価を行い、振り返りと目標の確認ができた。	<ul style="list-style-type: none"> 何ができて何ができなかったのか、できなかったことをどう改善するか、その繰り返しが業務をより分かりやすく、満足度の高い仕事になると思います。 大多数の方が出来ているという事で大変良いと思います。 全体的に厳しく自己評価されているのではないかと感じた。 声掛け、気遣いなど配慮がほとんどできていないと答えられた方が1名ありましたが皆さん努力されていると思います。 17名全員で取組みがされている。 	振り返りを行いながら自己評価を職員全員が理解し取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の清潔を保持し、改修、修繕が必要な個所は整備する。	運営推進会議の開催場所を3階談話室に変更し、事業所に立ち寄れるよう同建物内で開催し中の様子が確認しやすくなった。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の仕事のなかで、常に働きやすい仕事場にしたいという目で全員が心を一つにしていれば、必然的にそのような職場になります。 環境については相当努力していることがうかがわれ清潔感も保たれていると思います。 利用者の交流にも配慮できている。 建物の構造上入口が裏側となり分かりにくい点がありますが清潔に保つように配慮されていると思います。 整理整頓がされている。 	事業所の清潔を保持する。感染予防に留意し、定期的な換気、消毒、職員の衛生管理を徹底する。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>小、中、高校生の職場体験や学習は今後も継続的に受け入れる。 地域の行事やイベントにかかわる機会を増やす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校の体験学習は恒例化している。 ・地域支援センターの交流広場へは散歩を兼ねて週に一度訪問している。（3月中旬～外出自粛） 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で永生きだけが人生の目的ではありません。人は社会の中に存在してこそ人なのだと思っています。なるべくそのお手伝いの努力をしてあげてください。 ・当地区に於いてはしっかりかかわっておられると思いますが全町内においてはまだ理解されてないように思います。 ・隣の地域支援センターの行事の参加等他の方との交流の場を積極的に持たれている。 ・今は外に出ることはできないと思いますが、普段は計画的に外に出るよう取り組まれていると思います。 ・地域のイベント等に参加されている。 	<p>小、中、高校生の職場体験や学習は今後も継続的に受け入れる。 新型コロナウイルスの状況をみて外出や、地域交流についてはその都度検討し判断する。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>地域の行事を事前に確認し、地域に出向く機会を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・天気のいい日は周辺の散歩やドライブに出かけている。 ・新型コロナウイルスの感染予防として外出は自粛している（3月中旬～外出自粛） 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と接することは数学のように1+1=2 とはならないことが沢山あります。そこに足を踏み込むことは相当の覚悟が必要です。皆さんでよく話し合っ、個々に対応した総合的な取り組みをお願い致します。 ・日々利用者の為に研修を受け、個々において相当努力されている事が良く伺えます。そうした中で大切な利用者が主体であることを大切に取組むことが必要と思います。 ・家族的な背景や環境など十分な情報収集をされていると思う。 ・本人、家族の希望を聞きながらサービスを提供されていると思います。 ・されています。 	<p>地域との交流はその時の状況をみて判断する。外出先での密状態を避け、散歩や外出行事の計画を立てる。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>会議でいただいた意見、提案を業務に繋げる。</p>	<p>運営推進会議で独居の方の情報を頂き、地域の困難事例の相談や、生活支援ハウスの入居の提案をいただいた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員でもできることもあると思います。役場でできることもあると思います。いろいろな手立てを使って個々の問題を改善できる場であればとおもいます。 ・全員で一生懸命取組もうとされている態度がとてもすばらしいと思います。 ・運営推進会議を通じて施設、スタッフの取り組みや支援状況を知ることができる貴重な機会ととらえている。 ・家族、民生委員さんの話しで家庭での 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議でいただいた意見を地域の民生委員さんと共有し、支援につなげていく。 ・大きな行事の際は委員の皆さんに参加を依頼する。

			<p>様子がよくわかるので生かしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例月に会議の開催があった。 	
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>消防計画を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回定例の消防避難訓練を実施。 (2階利用者、3階入居者参加) 参加職員で自動通報装置の場所、操作方法の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃のチェックといざとなった時、自分は何をすべきか、各人が役割を認識しておくことです。 ・大切な命にかかわる事柄であることから確実な管理は元より訓練等も積極的に行って頂きたいと思います。 ・利用者の不安軽減の対応をされ、頼りにされていると思う。 ・防災訓練をされているところを一部分ですが見させていただくことがあります。熱心に取り組まれていると思います。 ・会議で報告があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて当事業所の消防計画の説明をする。